

## より強く、より軽く

Net Reinforced Laminate

## NRL登場!

そのようなアライの考えを曲げずに、強さはそのまま、しかも軽量化をも成し遂げた帽体がシグネットRRに採用されたSNC構造です。積層構造の帽体においては、大きな衝撃を受けた際の層間剥離が強さの限界とされています。SNCは、この限界をさらに延ばすため、特殊なネット状素材を組み合わせ、積層間の変位を押さえる構造を持ちます。これにより、限界性能は大きく向上し、世界で認められているSuper cLcよりも、帽体単体で10%以上軽く仕上げることができました。



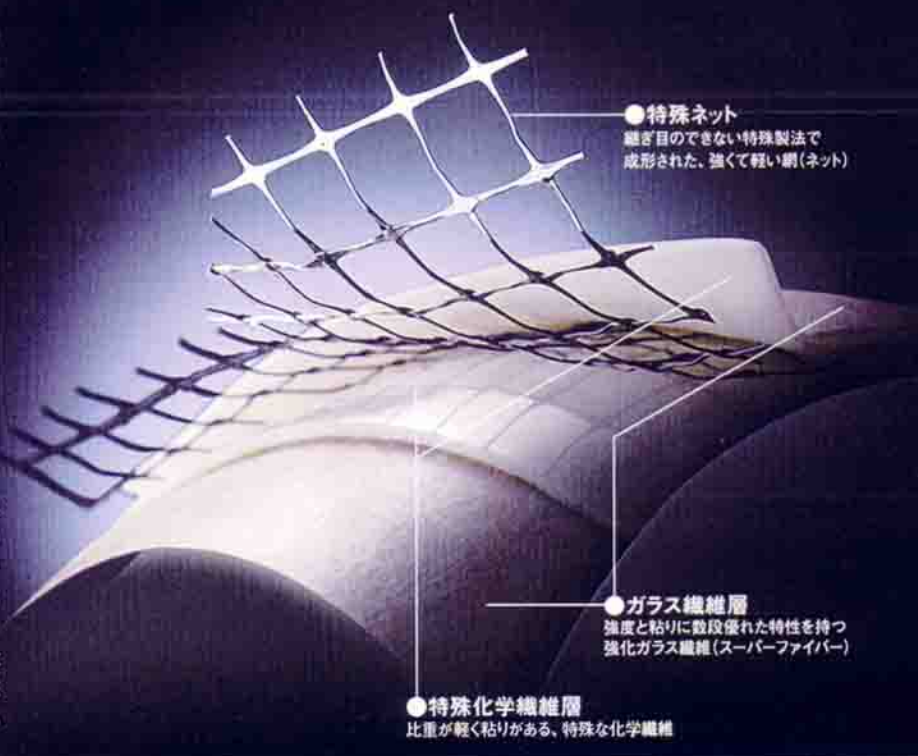
しかし、SNCは素材が高価だけでなく、その生産性でもSuper cLc以上に緻密な作業を必要とします。生産数も限られたものなので、ごく一部の特殊なヘルメットにしか採用できません。そこで、このネット構造を利用しながら、少なくともSuper cLc並の生産効率を追求した結果、生まれたのがNRL (Net Reinforced Laminate)です。このNRLを採用したラバイドNLは、さらに厳しくなったスネルの2000規格をクリアするだけでなく、Super cLcで作られたスネル95規格の前作ラバイドLSよりも30~50グラムの軽量化を実現し、コストの上昇も最低限に押さえることができました。

アライが求めるのは、強く軽く、しかも優れた衝撃吸収性を併せ持つヘルメットです。NRLの登場により、JIS規格だけでなく、スネル2000規格、アライ規格という厳しい安全性の上乗せをして、しかも今まで以上に軽いヘルメットを、より多くの皆様にお届けできるようになりました。

今後とも、この姿勢を貫きながらチャレンジし続けていきます。ご期待ください。

アライでは、ヘルメットの骨格たる帽体は、強靱なものでなければならぬと考えます。無論、ポリカーボやABSなどのプラスチックを主たる原料とする外国メーカーなどの中に、「帽体はこわれやすい方が衝撃吸収性は良い」との主張があるのを知っています。

帽体をこわれやすくするのは簡単です。軽量化もできます。しかし、強さにこだわるアライの強靱な帽体でさえも引き裂かれたのに何とか助かったという例を、レース場のみならず一般公道の事故でも、アライは数多く検証してきました。もし、軽さを売り物にしてこわれやすい帽体のヘルメットを作っていたら、そうしたライダーはどうなっていたらどうか? 人間として悔いは残したくない。だから、柔な帽体のヘルメットは作りません。

NRL  
Net Reinforced Laminate  
of RAPIDE NL

## ●特殊ネット

縫ぎ目のできない特殊製法で成形された、強く軽い網(ネット)

## ●ガラス繊維層

強度と粘りに殺段優れた特性を持つ強化ガラス繊維(スーパーファイバー)

## ●特殊化学繊維層

比重が軽く粘りがある、特殊な化学繊維



## ●モデル名: ラバイドNL

●規格: スネルM2000規格・JIS規格

●カラー: 白、黒、プライトシルバー、LAブルー

●サイズ: (53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)

●価格: ¥37,000(税抜き)